

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム かるすと

作成日 : 令和 6 年 2 月 8 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議は年6回の開催が義務であり、コロナ禍でも、書面開催や対面開催等の工夫が求められる。事業所の報告内容について、委員から意見や要望等を受け、利用者にとってのよりよい運営やサービスの質の向上に取り組むことが望まれる	今年度最後の月3月に1回、次年度は2ヶ月に1回対面開催を実施(感染状況によっては書面開催か、リモート開催を行う)	コロナ禍前は偶数月の第2火曜日だったが、委員の皆さんに開催日を確認し、集まりやすい日を選定する。書式は今まで通りの物を使用。2ヶ月に1回開催する	12 か月
2	5	委員から助言等を得る場として、身体的拘束等の適正化のための検討委員会を3か月に1回以上開催することが望まれる	毎月のミーティング時に話し合った身体拘束、虐待かもしれない事例や職員の意見、対応の改善内容を運営推進会議に報告し、委員より意見をいただく。いただいた意見をさらに職員間で共有、話し合い、実践に繋げる	毎月のミーティング時に日頃のケアを振り返り、身体拘束、虐待かもしれない事例について職員間で話し合い、改善策を検討、実施し、運営推進会議で報告、委員から意見をいただく	12 か月
3	6	日々の支援を振り返り、不適切な言葉かけ等も含めて職員間で話し合うことを期待したい	日々の支援の際の言葉かけ、対応、ケアについて振り返る習慣をつける。話し合いを持ち、他職員の視点から意見を聞く。具体的な改善策を出し、実践に繋げる	日々の支援の際の不適切な言葉使い、対応、ケアについてその都度かミーティング時に出してもらい、話し合い、他職員の意見を聞き、具体的改善に向けて取り組む	12 か月
4	9	夜勤専任の職員に対する年2回の健康診断の実施、及びハラスメント防止のための取り組み(方針の明確化、職員への周知・啓発、相談・苦情体制の整備、相談窓口の設置、就業規則への記載、マニュアルの整備、研修の実施)が望まれる	夜勤者の年2回の健診実施。ハラスメント防止マニュアルを用い、職員の周知、啓発、相談窓口の設置、相談・苦情体制の整備を行う	夜勤者の1回目の健診が終わった時点で2回目の予約を入れ、半年ごとの健診を実施する。ハラスメント防止マニュアルを用いての勉強会、相談窓口の設置、就業規則への記載を行う	12 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。